My Garden Story Part.9

海の見えるウッドデッキ

心地よい海景色と潮風、きらきらと差し込む水面の反射。海の見えるウッドデッキには、いつでも自然の恩恵が潤沢に舞い込んできます。

取材・文◎野神由紀子　撮影◎漆戸美保
写真提供◎ Heaven's Garden

立地の特徴を活かし、海をより美しく演出

「私たち夫婦は沖縄が大好き。沖縄と言えば海。だから、海の見えるウッドデッキは必須条件」。そう語るのは、横須賀の高台で暮らすOさん。「理想のデッキをインターネットで検索していてたどり着いたのが、ヘブンズガーデンです」。Oさんの理想通り、2階リビングから眺めるベランダ越しには穏やかな海が広がります。

「ソファに座わってみてください」。そう薦めるのは、今回ご紹介するウッドデッキを手がけたヘブンズガーデンのエクステリアデザイナー柿崎さん。その言葉に促され、海の方を向くリビングのソファに腰を下ろすと、目の前に広がるのは海だけという按配。「前方に立つマンションを隠し、海だけが見えるようにウッドデッキの塀の高さを調節したんです」。

デッキの一部が、カーブを描いている点に聞くと、次のように説明してくれました。「南東に海があるので、その方角のラインを曲線にしました。そうすることでウッドデッキの角がなくなり、視覚的に広く海を取り入れることができるのです。それと、1階のガーデニングスペースの日当たりを良くするという利点もあるんですよ」。

立地の条件を最大限に活かした、合理的なウッドデッキが、高台からの海景色を一層美しく近く感じさせるのでした。

まるで、海に浮かぶ豪華客船

大海原を進む船から眺める景色は、きっとこんな感じなのだろう。ウッドデッキは、筆舌に尽くし難い感動の光景をプレゼントしてくれます。

目の前が海という、実に贅沢なロケーション。幕板代わりのワイヤーが、海景色の魅力を余すことなく室内へ運んでくれる。

豪華客船の旅を思わす マリンスタイルのデッキ

どこまでも続く水平線。家の中にいながら湘南の海を独占しているかのような絶景を満喫できるのは、稲村ガ崎にあるOさんのお宅。「この家を建てたときは、小さなベランダしかありませんでした。それをもっと広くしてオープンな空気感を出したいと思い、お願いしました」。

柿崎さんが提案したのは、海ならではの開放感を存分に引き出すウッドデッキ。「海をより大きく近く感じさせるために、デッキの面積を敷地内ぎりぎりまで伸ばしました。そうすることで、目の前の道路からの視線を遮ることにもなるんですよ」。

以前の小さなベランダからは想像できぬ壮大なスケール感にOさんは、「ただただ感激でした」と、海を眺めながら笑顔で応えてくれました。

ダイニングテーブルの椅子に座れば、デッキの向こうに見えるのは水平線のみ。まるで豪華大型客船での船旅をしているかのようです。「海景色を遮らないように幕板の代わりにワイヤーを張り、コーナーには海岸沿いにお似合いのマリンライトを設置しました。他にも、手摺りは白く、床は木目にするなど、とにかく本物の船さながらのデザインにこだわりました」。

オーシャンビューというロケーション、そして、そこここに施された粋な計らい。それが、訪れる人々を大型客船の船旅へと導いているのです。

▼玄関アプローチの中央には木製の階段が。まるで、船着場から船に架かるタラップのよう。

▲コーナーテーブルには海辺によく似合う船舶用のマリンライトが設置されている。

▲海に面した玄関にはアーチを描く木製扉。

海が見えるウッドデッキがあれば、日々の素敵な時間はもっと増える

リビングの南側を取り囲むウッドデッキ。どの位置に立ってもパノラマの湘南の海を堪能できる。

エクステリア・ガーデニング・ウッドデッキの専門店

ヘブンズガーデン代表
柿崎 浩司

資格：二級建築士
インテリアコーディネーター
趣味：サイクリング

2003年テレビ東京系『TVチャンピオン（ガーデニング王決定戦）』に出場

WOODDECK CAMPAIGN!

2011. ウッドデッキキャンペーン

キャンペーン期間：2011.4/23～7/18

お庭がリビングになる！ ウッドデッキはお庭の新たな自由空間になります。
期間限定で最高級イペ材のウッドデッキを15%OFF。樹脂デッキを定価の50%OFFで提供しております。
（詳しくはお問い合わせください）

HEAVENS GARDEN
ヘブンズガーデン
〒252-0813
藤沢市亀井野1515
Tel:0466-90-0555

0120-08-6658
www.heavens-garden-co.jp
ヘブンズガーデン　検索

ウッド素材の小物

ウッドデッキのまわりを彩る小物をご紹介。

青い海と空、そして緑の芝と相性抜群の純白のアメリカンフェンス。

細く丈夫なワイヤーを使用することで、遮る物のない海景色を実現。

ウッドポールとロープの組み合わせで、船着場のような設えに。

船着場の波をイメージさせるような曲線で仕上げたエントランス。

▲梯子階段を登りきると、周囲の家の屋根を越えた視線の先に鎌倉の海が見える。

▲子供用と大人用の二本の手摺りは、転落防止という安全面でも活かされている。

▲2階デッキの斜めのラインのおかげで、1階デッキにも長時間日当たり良好。

すべての階において日当たり良好なウッドデッキ。省スペース目的の梯子階段は、家族みんなのお気に入り。

梯子階段の先には、輝く海が待っている

まだ見ぬその先に、光り輝く海が待っている。そんな胸のときめきをくれる梯子階段が、家族の冒険心をくすぐります。

想像を超える発想で、海と太陽を手に入れる

鎌倉の海岸線に近くで暮らす町田さん。家族みんなのお気に入りは、空に向って佇む二階建てウッドデッキです。「1、2階に同じサイズのベランダがあったのですが1階の日当たりが悪くて…。日当たりを良くしたいと悩んでいた時、ヘブンズガーデンのホームページに出合いました。様々な施行例を見て、〝ここなら理想的なデッキを実現できる〟と思いお願いしました」。

1階の日当たりを良くしたい、3階に海を臨むウッドデッキを設置したい。この二つが町田さんの希望でした。「手書きのイメージラフを見て、目からうろこが落ちる思いでした」と、想像以上の画期的なデザインに、町田さんは驚いたそう。

「3階デッキは、2階デッキの日当たりを邪魔しないスペースで、視線が周囲の家の屋根を越える位置に設計。そして、限られたスペースを最大限に活かすために、通常の階段よりも省スペースを計れる梯子階段を採用しました。実は、この梯子階段、僕も大好き。何だか冒険心がくすぐられて、つい用もないのに登りたくなっちゃう」。町田さんご夫婦も、この遊び心満載の梯子階段をとても気に入っているとのこと。

アイデアと利便性に満ちている柿崎さんが手がけるウッドデッキ。ただ海が見えるだけではなく、日当たりや素材など、それぞれを見事に調和させ、各々の存在を一層輝かせていく。

そんな優れたバランス感覚と、高い技術がそこはかとなく光る表情豊かなウッドデッキに、出合いにでかけてみませんか？

神奈川県鎌倉市　町田さん

鎌倉在住13年の町田さんご家族。ご夫婦揃ってサーフィンが趣味。6歳のお嬢さんと愛犬バニラちゃんの元気いっぱいのお出迎えが、訪れる人を笑顔にしてくれる。